

武田計測先端知財団 2022 年度事業報告 (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 1 月 31 日まで)

2022 年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、自宅での作業やオンラインミーティングなどを活用し、以下のような財団活動を行った。

1. 財団発行の書籍の販売

財団編集・丸善プラネット発行の書籍の販売を丸善に依頼していたが、財団解散に伴い販売契約を解消し、12 月末日付で販売を終了した。

武田シンポジウムの講演をもとにした財団編集の書籍は、ケイ・ディ・ネオブック刊が 6 冊、東京化学同人刊が 4 冊、丸善プラネット刊が 4 冊、計 14 冊となった。また、イノベーター列伝などの書籍を 8 冊発行した。

2. TTM-D

月に 1 回のペースで財団スタッフのミーティングとして TTM-D を開催した。財団運営についての議論のほか、自分に関心を持っていることについて発表し、スタッフで議論し情報を共有した。また、外部講師のお話も伺った。

テーマは、添付資料参照。

3. ウィークエンド・カフェ・デ・サイエンス

科学博物館のサイエンスコミュニケーター養成講座修了生有志が中心となって、新型コロナウイルス感染対策のため Zoom を使ったオンライン開催を行っている。

2022 年度では、会計事務所の指導を受けて、将来 NPO 法人になった場合でも通用する会計システムの構築も行った。

財団は、運営資金の補助と毎月の定例会での議論への参加を主な支援として行なった。

4. 解散懇親会の中止と記念品の贈呈

約 20 年間に亘って財団活動をご支援ご指導ご鞭撻頂いた理事、評議員、アドバイザー等の方々との親睦会開催を計画していたが、コロナ禍が終息しないため、開催を見送った。上記関係者に、財団解散のご挨拶の記念品としてとして革製マウスパッドを贈呈した。

また、財団メールリストに登録されている方々に財団解散のメールをお送りした。

5. 財団ホームページの維持

5.1 2030 年ごろまで

ヤング武田賞などの財団活動の記録の公開を維持・継続するため、2030 年までを

用途に Web サーバースペースのレンタルを継続する。具体的には、ウィークエンド・カフェ・デ・サイエンス事務局に 2021 年からのレンタル料の支払いを依頼している。

5.2 それ以後

2023 年 3 月 13 日に東大総長の藤井輝夫先生を代表理事／代表清算人唐津と理事／清算人大戸で訪問し財団の解散の報告と、これまでに東大から篤いご支援を頂いてきたことの御礼をお伝えした。

その時に今後のこととして財団が開設しているホームページの長期的維持について、10 年程度は確保しているもののそれ以降は資金的に閉鎖せざるを得ないことをお話した。これに対して、藤井総長から、東京大学として全学のアーカイバルを準備中で、そこに財団のホームページも収容したらどうかというご提案を頂いた。財団としては、願ってもないお話しで、ぜひそうしていただければありがたいとお願いした。具体的には、工学系研究科長の加藤泰浩先生、熊田亜紀子先生と詰めるということになった。

6. 総合研究奨励会への業務委託

2023 年 1 月 31 日をもって財団を解散し、清算を実施しているが、その間、会計業務を中心に一般財団法人総合研究奨励会に業務委託をした。

添付資料 TTM-D 2022 年度テーマ一覧(太字は外部講師)

年月日	テーマ	担当
2022/4/19	茶の湯とイノベーション	片山実
2022/5/17	風雲急を告げる半導体地政学	西村吉雄
2022/6/14	技術予測(製造業視点) * AI, IoT, DL, 量子技術 * VR 技術, Metaverse	鴨志田元孝
2022/7/12	日本の半導体産業衰退の原因 ネット情報調査まとめ	相崎尚昭
2022/8/23	30 か月の在宅勤務 2020 年 3 月から 2022 年 8 月まで	赤城三男
2022/9/13	フランス再訪	大戸範雄
2022/10/18	万国博覧会	宮島京子
2022/12/12	今年の活動の振り返り JST ワシントン事務所経験してきたこと	嶋田一義
2023/1/17	日本の神様	河原林有子